

編 集 後 記

大学全入時代という言葉が聞かれるようになり、高等教育の場である大学自体も市場原理により淘汰される時代となってまいりました。教育・研究のあり方を常に真摯に追求し、学生の質・量ともに確保する努力をしなければなりません。そして、ますます激しくなる大学間競争に果敢に立ち向かわなければなりません。

このような状況下におきまして、本学における教育・研究の成果として川崎市立看護短期大学紀要第13巻をお届けいたします。学内専任教員からは7編、学外から2編 計9編の論文を掲載しました。在宅看護・老年看護・公衆衛生・母性看護・FD・教育論と幅広い内容が掲載されています。今回は原著となる論文は掲載できませんでしたが、各方面からの忌憚のないご意見やご高評をいただき、さらに内容の充実を図ってゆきたいと考えております。

末文とはなりましたが、紀要発刊にあたり査読審査委員をはじめ、発刊にあたり多大なるご協力を頂きました関係各位に深謝申し上げます。

(住 本 和 博 記)

図書委員会

委員長	住 本 和 博
副委員長	岩 倉 孝 明
委員	菊 地 珠 緒
委員	谷 山 牧
委員	佐々木 三 和
委員	富 塚 聡 子
事務局	野 村 充